

(2) 社会

ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—	
思・判・表	社会的な思考・判断・表現
技能	観察・資料活用の技能
知・理	社会的事象についての知識・理解

(◇：「活用」に関する問題)

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	活用	評価の観点	設定通過率 (%)	通過率 (%)		
第3・4学年 ※③(3)のみ第5学年	(4) アイ	1	ア	119番に電話をすると、最初に通信指令室につながることを理解している。		知・理	70.0	97.4
			イ	火事が起きた時の通報の仕方を指摘することができる。		技能	70.0	88.9
		(2)		関係機関が相互に連携して緊急に対処していることを考えることができる。	◇	思・判・表	50.0	46.5
		(3)		防火のために自分たちができる正しい内容を指摘することができる。		思・判・表	60.0	25.9
	(3) アイ	2	A	資料からごみの処理の仕方を読み取ることができる。		技能	70.0	35.8
			B	資料からごみの処理の仕方を読み取ることができる。		技能	70.0	31.9
	(2)		リユースの考え方でごみを減らす方法を指摘することができる。	◇	思・判・表	60.0	35.4	
	(1) ア	3	(1)	縮尺を使って実際の道のりを導き出すことができる。		技能	55.0	59.5
			(2)	地図から読み取った土地の様子とその場所を示す写真資料を基に、その場所に適する地図記号を考えることができる。		思・判・表	70.0	88.8
			(3)	地図から読み取った土地の様子を基に水田に適する場所を指摘し、わけを説明することができる。	◇	思・判・表	60.0	80.0
			(4)	地図の情報とまち探検の発見カードの内容を比較・総合しながら、発見カードをまち探検の道順に従って並べることができる。	◇	思・判・表	50.0	46.6
			(5)	川が流れる方向の情報に基づき地図の方位を考え、正しい向きの方角記号を指摘することができる。	◇	思・判・表	50.0	39.8
	(5) ウ	4	(1)	吉田新田について正しい歴史的事象を指摘することができる。		思・判・表	65.0	38.7
			(2)	資料から、吉田新田ができたことにより当該地域がどのように変容したのかを指摘することができる。	◇	思・判・表	55.0	26.8
	(6) イ	5	(1)	青森県の気候風土を利用した農林水産業の説明カードから、地図上の位置を指摘することができる。	◇	思・判・表	55.0	30.7
			(2)	農産物の県別生産量を示す資料と青森県の農業等既習事項を比較・総合しながら、その農産物名を指摘することができる。	◇	思・判・表	60.0	49.7
			(3)	等高線の間隔の意味について考えることができる。	◇	思・判・表	60.0	36.9
			(4)	等高線が示す地形の特徴を具体的にイメージし、その意味を考えることができる。	◇	思・判・表	50.0	35.9
	(6) イ	6	(1)	津軽半島が北海道新幹線の開業ルートになっていることを指摘することができる。		知・理	60.0	52.1
			(2)	北海道新幹線開業後の青森県の新幹線の停車駅数を地図から読み取ることができる。		技能	60.0	24.0
(3)			青森県の交通の広がりやを示す地図をより詳細にするための調査項目を考え、指摘することができる。		思・判・表	60.0	24.0	
第5学年	(1) イ	7	ひろし	気温と降水量のグラフから、該当する都市名を指摘するとともに、太平洋側の気候が夏に降水量が多くなる理由を説明することができる。	◇	思・判・表	55.0	20.6
			まさこ	気温と降水量のグラフから、該当する都市名を指摘するとともに、日本海側の気候が冬に降水量が多くなる理由を説明することができる。	◇	思・判・表	55.0	22.6
	(2) ア	8	(1)	農業で働く人数の変化の中でも、特に若者の減少が問題であることを指摘することができる。	◇	思・判・表	50.0	50.8
			①	農業の労働時間の変化を、グラフから読み取ることができる。		技能	70.0	57.9
				②	農業の労働時間の変化は、農作業の機械化が要因であることを説明することができる。	◇	思・判・表	50.0
	(3)		専業農家について問う文を作成することができる。	◇	思・判・表	50.0	34.7	
	(1) ア	9	(1)	日本の周辺の国について指摘することができる。		思・判・表	50.0	44.6
			(2)	日本の領土を理解している。		知・理	50.0	57.4
あきこ			日本とユーラシア大陸の位置関係を理解している。		知・理	60.0	75.8	
ゆきお			日本の周辺の海を理解している。		知・理	60.0	40.1	
		まさし	緯線・経線の用語を理解している。		知・理	50.0	33.0	

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容		設定 通過率	東青管内			西北管内				
					青森市	東郡		五所川原市	つがる市	西・北郡	
1	(1)	ア	119番の通報のしくみの理解	70.0	97.3	97.2	97.3	97.6	97.1	97.8	98.1
		イ	119番の通報の仕方の指摘	70.0	90.6	90.7	89.2	87.9	84.2	89.9	90.8
	(2)		関係機関の連携の目的の指摘	50.0	45.5	45.9	39.2	46.4	45.5	50.2	45.0
	(3)		防火への適切な取り組み内容の指摘	60.0	26.2	26.4	23.0	22.7	22.5	22.0	23.4
2	(1)	A	正しいごみ処理の仕方の読み取り	70.0	35.7	35.3	41.2	26.6	19.8	28.5	33.1
		B	正しいごみ処理の仕方の読み取り	70.0	33.0	33.3	28.4	30.4	30.9	32.9	28.0
	(2)		ごみを減らす適切な処理方法の指摘	60.0	36.1	36.2	33.8	31.6	34.3	35.4	26.0
3	(1)		縮尺を使った距離の算出	55.0	61.9	62.2	57.4	58.2	54.9	61.7	59.6
	(2)		条件に該当する地図記号の指摘	70.0	88.3	87.9	95.3	88.1	89.3	87.7	87.1
	(3)		地形に対応する土地利用の指摘	60.0	80.2	80.2	81.1	76.8	77.5	79.1	74.5
	(4)		地図の読み取り	50.0	48.9	48.8	50.7	42.3	36.6	51.6	42.6
	(5)		条件に該当する方位の指摘	50.0	41.4	41.9	34.5	33.9	31.4	32.5	37.7
4	(1)		吉田新田の工事の様子の読み取り	65.0	40.1	40.5	33.8	35.3	36.6	35.4	33.8
	(2)		吉田新田完成後の地域の様子の変化の指摘	55.0	25.7	26.1	18.2	26.8	27.2	26.4	26.8
5	(1)		条件に該当する県内の位置の指摘	55.0	28.1	28.6	20.3	29.1	20.8	44.0	28.5
	(2)		条件に該当する農作物の指摘	60.0	52.8	52.8	53.4	47.3	45.7	49.8	47.4
	(3)		等高線の読み取り	60.0	38.1	38.0	39.2	34.7	30.3	41.2	35.5
	(4)		等高線の読み取り	50.0	36.7	36.9	33.8	33.4	27.6	39.7	35.8
6	(1)		津軽半島の位置と名称の理解	60.0	54.5	54.2	59.5	50.2	46.3	65.3	44.5
	(2)		新幹線の駅数(開業予定含む)の指摘	60.0	27.2	27.6	20.3	22.7	21.1	30.3	19.5
	(3)		交通の広がりへの調査項目の指摘	60.0	27.4	28.0	18.2	23.0	18.5	34.3	20.7
7	(1)	ひろし	太平洋側の気候の特色の指摘	55.0	20.9	20.8	22.3	18.6	17.1	24.9	16.1
		まさこ	日本海側の気候の特色の指摘	55.0	20.7	20.3	26.4	19.8	18.1	24.5	18.5
8	(1)		農業の労働人口に関する問題の指摘	50.0	54.6	54.1	60.8	49.5	52.0	40.1	55.8
	(2)	①	農業の労働時間の変化の読み取り	70.0	57.9	57.4	64.2	57.5	51.7	57.0	66.5
		②	農業の労働時間の変化の要因の指摘	50.0	64.8	64.7	66.2	64.8	62.9	61.0	71.5
	(3)		農家の仕事に関する問題カードの内容の指摘	50.0	35.6	36.1	28.4	34.0	27.7	37.5	39.6
9	(1)		隣国の国名と国旗の指摘	50.0	44.6	45.1	35.8	45.7	42.5	53.8	43.8
	(2)		国土の端点に位置する島名の理解	50.0	56.8	56.5	60.8	56.1	49.3	62.8	59.4
	(3)	あきこ	国土の位置と大陸との位置関係の理解	60.0	74.1	73.9	76.4	77.8	76.2	82.3	76.6
		ゆきお	国土を取り巻く海洋名の理解	60.0	38.3	38.1	41.9	42.6	40.0	53.8	38.2
		まさし	緯線・経線の用語理解	50.0	28.7	28.3	35.8	26.5	26.7	35.4	20.2
教科全体				58.1	47.2	47.2	46.5	44.8	42.4	49.0	44.5

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内				下 北 管 内			三 八 管 内		県全体	
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡		八戸市	三戸郡			
97.4	97.2	97.5	98.5	97.3	97.9	98.2	98.9	97.2	97.4	97.2	98.1	97.2	97.3	96.6	97.4
88.7	87.8	92.2	89.2	89.0	88.8	89.0	91.3	87.6	89.2	89.5	87.9	87.6	87.9	86.8	88.9
46.8	39.1	58.7	57.1	60.8	45.2	50.1	44.7	42.5	44.0	44.7	41.1	49.0	49.2	48.3	46.5
24.8	24.2	31.3	21.6	23.5	28.4	27.7	29.8	28.1	24.0	25.0	19.6	26.9	27.6	24.0	25.9
34.5	37.0	32.0	20.8	39.2	41.1	36.0	42.3	43.8	29.7	31.2	23.4	39.3	39.8	37.3	35.8
28.5	26.6	30.6	25.5	38.8	35.1	30.6	33.9	38.5	29.0	29.5	27.1	32.5	33.0	30.7	31.9
39.6	38.3	44.1	32.0	49.0	38.6	42.0	33.9	38.7	33.9	35.5	27.1	30.9	30.9	30.9	35.4
57.7	57.3	59.8	59.1	55.7	59.8	59.7	60.7	59.4	54.1	54.5	52.3	60.2	60.3	59.9	59.5
88.1	86.6	92.2	91.5	87.5	90.3	91.4	87.5	90.8	88.7	87.8	92.5	89.3	89.8	87.4	88.8
79.7	77.0	85.1	83.8	83.1	82.2	85.5	81.0	80.7	78.6	79.9	72.9	80.2	81.6	74.7	80.0
47.8	45.0	50.2	47.5	59.6	45.2	42.8	46.1	46.4	43.1	44.4	37.4	46.8	47.4	44.7	46.6
38.9	37.9	43.1	37.1	40.8	41.1	42.6	45.8	37.9	35.0	36.3	29.0	41.8	41.0	44.9	39.8
36.3	36.2	34.9	35.9	38.8	38.4	40.5	40.9	36.0	36.2	36.5	34.6	41.7	41.9	40.7	38.7
25.2	24.8	27.4	29.3	20.4	27.3	34.8	27.9	22.5	29.6	31.0	23.4	28.4	28.8	26.9	26.8
37.7	36.6	37.7	43.6	37.3	33.1	34.2	31.4	33.3	28.3	29.1	25.2	27.1	26.0	31.3	30.7
46.7	46.3	52.3	50.2	39.2	48.9	47.7	50.7	48.8	51.3	54.3	38.3	50.1	51.4	45.1	49.7
34.9	33.2	37.7	35.1	39.6	40.1	46.2	40.4	36.2	32.5	34.0	26.2	37.3	37.4	36.9	36.9
34.5	31.6	38.8	42.9	36.1	36.7	40.3	35.2	35.1	33.4	35.0	26.2	37.4	37.1	38.9	35.9
53.8	50.5	62.6	44.4	70.2	58.9	58.5	57.5	59.8	59.8	61.5	52.3	42.4	42.5	41.9	52.1
25.7	19.9	34.5	27.8	42.4	22.4	20.6	20.9	24.3	24.2	24.1	24.3	21.0	20.7	22.4	24.0
19.1	16.7	17.1	20.1	32.5	24.0	28.7	24.4	21.0	22.8	22.4	24.3	25.4	27.0	19.0	24.0
18.7	17.2	21.4	22.4	19.2	21.3	22.2	18.2	22.1	22.8	22.9	22.4	21.9	22.3	20.2	20.6
20.9	18.7	28.1	29.3	14.5	27.1	29.9	24.1	26.6	21.6	22.0	19.6	24.4	25.0	22.0	22.6
47.6	45.6	46.3	60.2	44.6	49.8	58.2	47.4	46.3	48.3	50.7	33.3	51.1	51.3	50.5	50.8
55.3	53.3	56.9	62.0	58.9	60.7	66.3	55.8	59.5	57.0	59.0	44.9	57.8	57.6	58.5	57.9
62.1	60.0	63.7	70.4	62.5	70.5	76.2	68.0	68.1	67.8	67.5	69.6	64.7	65.1	63.7	65.5
35.7	33.8	37.7	43.5	30.4	33.4	32.5	43.1	29.4	29.9	28.7	45.5	35.6	35.2	37.1	34.7
43.1	41.4	51.6	43.6	41.6	46.0	50.7	41.7	44.9	43.0	40.0	56.1	44.8	45.3	42.7	44.6
54.3	50.8	55.5	56.8	67.5	61.5	63.7	45.8	67.4	63.8	65.4	57.0	56.9	57.2	56.1	57.4
73.4	70.2	81.1	78.0	75.7	79.2	80.4	66.7	84.2	79.8	79.9	79.4	75.6	75.6	75.6	75.8
38.6	34.6	44.8	47.5	42.7	41.8	48.3	24.4	45.6	50.8	51.9	45.8	38.3	38.9	36.1	40.1
33.1	29.9	33.8	40.2	40.8	36.0	32.0	23.8	43.9	41.6	45.9	22.4	36.4	37.7	31.3	33.0
45.8	43.9	49.4	48.1	49.4	48.5	50.2	46.4	48.3	46.6	47.4	42.8	46.8	47.0	45.7	46.7

## ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各内容・領域 の通過率 (%)	設定通過率 (%)
人々の生活・ 先人の働き	5		4(2)	33.7	64.0
人々の安全	4	1(1)ア、1(1)イ	1(3)	64.7	62.5
地域の様子・ 青森県の特徴	11	3(2)	6(2)、6(3)	44.4	57.3
食料生産	5	3(3)	8(3)	58.6	56.0
国土の環境	7	9(3)あきこ	7(1) 9(3)まさし	42.0	54.3

## エ 評価の観点別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各観点の 通過率 (%)	設定通過率 (%)
社会的な 思考・判断・ 表現	20	3(2)、3(3)	1(3)、4(2)、 6(3)、7(1)、 8(3)	42.1	55.8
観察・資料 活用の技能	6	1(1)イ	2(1)B、6(2)	49.5	65.8
社会的事象に ついての知識・ 理解	6	1(1)ア 9(3)あきこ	9(3)まさし	59.3	58.3

## オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率 (%)	設定通過率 (%)	主な誤答(無答を含む)例 (カッコ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%)
1 (3)	25.9	60.0	「ウ」の選択(42.0)、「オ」の選択(27.5)、 「ア」の欠損(9.0)、「イ」の欠損(6.5)、 「エ」の欠損(2.0)
4 (2)	26.8	55.0	無答(20.5)、米のとれる量が増えた(7.0)、 市街地になった(家が増えた)(5.5)、川がで きた(増えた)(4.0)
6 (3)	24.0	60.0	無答(32.0)、高速道路など道路に関する1項目の記述の み(21.0)、新幹線などの鉄道名や駅名等鉄道に関する 記述(18.0)
7 (1) ひろし	20.6	55.0	【都市名】無答(23.7)、上越市(23.7)、 帯広市(16.7)、那覇市(12.8)、 設定以外の都市(6.4) 【理由】無答(36.2)、季節に触れていない(13.8)、 季節風について(10.5)、気温について(8.6)、 太平洋側の気候(3.9)、台風(2.0)
9 (3) まさし	33.0	50.0	「○」(43.0)、無答(18.0)、「×」(4.0)、 具体的な国名の記述(3.5)

- 誤答の原因として[1](3)では、「交通安全のポスターをかく」を選択する誤答が多かったことから、問いが防火についての内容であることを理解していないことが考えられる。また、「火災報知器を押して点検する」を選択する誤答が多かったことから、点検は管理者や有資格者等がすべき事柄であることを適切に判断することができなかったと考えられる。
- 誤答の原因として、[6](3)では、無答が多いことから、「交通」の用語の理解が不十分なことが考えられる。また、1項目だけの記述や、鉄道に関する内容についての記述も多く見られることから、問題文の読み取りも不十分であったと考えられる。
- 誤答の原因として、[7](1)では、都市名についての指摘は無答や「上越市」が多く、また気候の特色についての記述は無答が多かったことから、季節風の影響による気候の特色の理解が不十分であったと考えられる。
- 誤答の原因として、[9](3)では、文中に示された「緯線」を正しいと判断して「○」を書いた誤答が多かったことから、緯線と経線の区別が付いていないことが考えられる。

## カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題としては、「廃棄物の処理」の学習内容の定着が挙げられる。この学習内容は、学習指導要領における第3学年及び第4学年の内容(3)のア「飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり」、イ「これらの対策や事業は計画的、協力的に進められていること」である。

今後の指導においては、導入時の体験的な活動を生かした学習問題と学習計画づくり等の工夫により、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにすることが大切である。

### 指導例

#### 導入時の体験的な活動を生かした学習問題と学習計画づくり等の指導

～単元名「ごみのしよりと利用」～

#### 【指導の流れ】

1 学区内にあるごみ収集場所の見学・調査をとおして、ごみの行方やごみ処理のきまりに目を向けさせる。

**学習活動①** 学校や家庭、市町村から出されるごみの種類と量を調べ、様々なごみが大量に出されていることや、分別されていることなどについて話し合う。



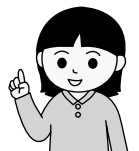
みなさんも知っているとおり、家や学校からはたくさんのごみが出ていて、いくつかの種類に分けて出されていますね。

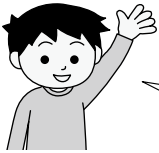
ごみの種類によって使うごみ袋を変えていて、捨て方が違うね。



**学習活動②** 学区内にある数か所のごみ収集場所を見学・調査し、その違いや共通点を話し合い、学習問題を作る。

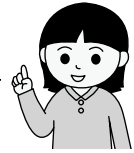
月曜日にごみ置き場へ行ったら、燃えるごみがたくさんあってびっくりしちゃった。燃えるごみは、どこに運ばれていくのかな。





水曜日に集められていたペットボトルや空きかんは、同じところで処理されているのかな。

ごみが運ばれていく場所や処理の方法は、種類ごとに違うのかもしれないね。



**学習問題**

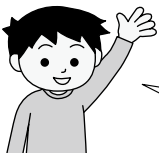
分別して集められたごみは、どこで、どのように処理されるのだろうか。

**ポイント**

・見学・調査したことから生じた疑問から、単元の学習問題につなげる。

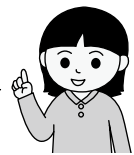
**2 学習問題に対して予想させ、解決するための学習計画を立てさせる。**

**学習活動①** 集められたごみが、どこで、どのように処理されているか予想する。

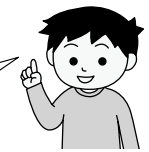


燃えるごみは清掃工場に運ばれて燃やされるって、お母さんが言ってたよ。

ごみの種類によっては、別の場所に運ばれるって聞いたことがあるわ。



家にあった「ごみの分け方、出し方」を見たら、清掃工場とリサイクルプラザという場所があるみたいだよ。



**ポイント**

- ・生活経験などを生かした根拠のある予想をもたせる。
- ・地域によっては、ゴミを処理する施設や方法が異なることに留意する。

**学習活動②** 予想を基に、学習計画を立てさせる。



「調べる観点」「調べる方法」を、カードにまとめましょう。

**学習計画**

**(調べる観点)**

清掃工場のごみ処理の仕方

清掃工場で出された灰の処理の仕方

リサイクルプラザのごみの再利用の仕方

**(調べる方法)**

見学をして、見たことや聞いたことをメモする

パンフレットをもらったり、インターネットで調べたりする

市役所の人にインタビューをしたり、メールや手紙で尋ねたりする

**ポイント**

- ・学習問題に即して調べ、予想を確かめるための学習計画を立てさせる。
- ・「予想を確かめる資料を選ぶ」「調べる観点を決める」「調べる方法を決める」「調べる順番を決める」「学習のまとめ方を決める」等の視点から学習計画を立てさせる。

個々の問題の誤答傾向からみた課題としては、「国土の気候と特色」の学習内容の定着が挙げられる。この学習内容は、学習指導要領における第5学年の内容(1)のイ「国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活」である。「気候の概要」は、「国土の地形」と密接に関係し、また内容(1)のアの中の「国土の位置（緯線・経線）」とも関連がある。

今後の指導においては、上記内容の単元間のつながりを意識し、関連付けながら白地図等の作業的な学習を効果的に取り入れるとともに、学習内容の確かな定着を図る工夫が大切である。

## 指導例

単元間のつながりを意識して、既習事項や調べたことを活用して考えさせ、まとめさせる指導  
～単元名「国土の気候の特色」～

※単元のまとめ

### 【指導の流れ】

1 前時までの日本の気候の特色を振り返らせる。

**学習活動①** 本単元の学習計画を振り返り、学習問題を確認する。



日本の国土は南北に長いので、南は暖かく、北は寒いです。

四季があります。



梅雨、台風、季節風も日本の気候の特色です。

### ポイント

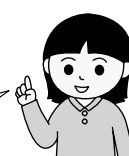
- ・本時の学習に関わる既習の語句、用語やキーワードはカードにして、板書に活用する。
- ・既習の学習事項（日本の位置、国土の地形が教室内）が掲示されていることが望ましい。

**学習活動②** グラフを読み取る観点を教師がおさえ、各地の気候の特色を考え、分かったことを白地図にまとめる。



「南は暖かく、北は寒い。」  
ことが分かるグラフはどれかな。

帯広と沖縄です。気温や降水量が大きく違います。



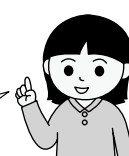
「季節風」が影響している  
ことが分かるグラフはどれかな。

上越と静岡です。上越は冬に降水量がとても多いです。



同じ中部地方でも静岡と軽井沢の気温が違うのはなぜでしょうか。

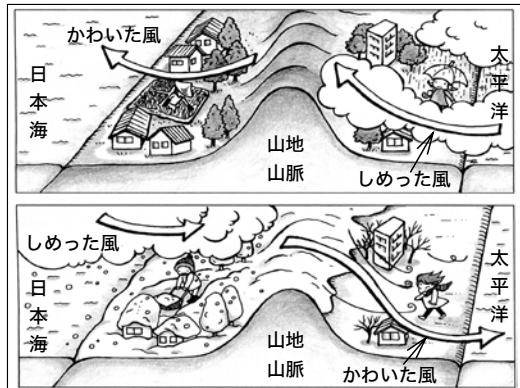
海に近い静岡に比べ、軽井沢は高地にあるからです。



### 季節風の影響

児童といっしょに  
まとめた地形図

気候区分毎に  
色分けした白地図



### ○各地の雨温図カード

帯広

那覇

上越

静岡

軽井沢

※雨温図は比較できるようにカードにして板書で活用できるようにする。

※地形図と気候区分図は電子黒板等で重ね合わせて提示するとより効果的である。

### ポイント

- ・雨温図の見方を確認するとともに調べる観点を与え、焦点化して話し合わせる。
- ・国土の地形図にグラフで取り上げた地域を示し、地形が気候を区分している要因の1つになっていることに気付かせる。
- ・地形図とともに立体地図やICT等を活用し、複数の視点から気候の特色を捉えさせる。

学習活動③ 単元のまとめをする。

### ポイント

- ・単元の学習問題、予想、学習計画を振り返らせる。
- ・「社会的な思考・判断・表現」については、穴埋め式ではなく、社会的な事象の意味について考えたことを、自分の言葉や学習した用語を使ってまとめの文を書かせ評価する。

「活用」に関する問題についての課題としては、習得した知識や技能を活用して、他の社会的な事象について調べたり考えたりする力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、主教材について学習した後、他の事例について調べたり考えたりする活動を設定する等の単元構成（全ての単元ではなく、可能かつ有効と思われる単元）の工夫が大切である。また、習得した知識や技能を活用することのよさに気付かせることが大切である。そのことによって、児童の思考力・判断力・表現力等が高まるとともに、習得した知識や技能の一層確実な定着が期待できる。



## 指導例

青森県と他地域（教科書事例）を比較する活動をとおして、単元の学習を広げる指導  
～単元名「米づくりのさかんな地域」～  
※庄内平野の米づくりについて学習した後

### 【指導の流れ】

1 青森県の米づくりについて考え、調べさせる。

**学習活動①** 青森県は米づくりがさかんな地域と言えるかどうか予想する。

Teacher: 青森県は、米づくりがさかんな地域と言えるでしょうか？

Student 1: 青森県といえば、りんごが有名だから、米づくりはそうでもないと思うよ。

Student 2: でも、「青天の霹靂」が、青森県産の米で初めて特Aと評価されて、すごく話題になったわ。

Teacher: 庄内平野の米づくりは、どのように調べたかな…？

Student 1: そういえば、日本海側には津軽平野が広がっていたな…。先生、地図で確かめたいです！

Student 2: 先生、全国の米の生産量ランキングや「青天の霹靂」のことが分かる資料はありませんか？

### ポイント

- ・ 庄内平野の米づくりが地形と気候を生かしていたことなどについて振り返らせる。
- ・ 資料は事前に教師が準備しておくが、児童から「○○の資料で～について調べたい」という発言を引き出す。

**学習活動②** グループごとに調べて、分かったことを整理する。

各グループで調べたことを画用紙にまとめて、黒板に貼ってください。

### 稲作の都道府県別ランキング（青森県）

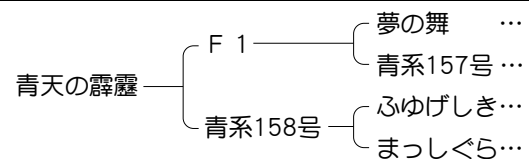
・ 作付面積	11位
・ 収穫量	11位
・ 10aあたりの収穫量	1位

（農林水産省統計より24年度の数値）

### 青森県の地形と気候

- ・ 八甲田山や白神山地など、青森県には深い森が多く、たくさん雪が降る。
- ・ 雪解け水は、豊かな地下水となり、川へ流れる。
- ・ 5月から10月の日照時間は東北で一番長い。

### 「青天の霹靂」ができるまで



### ポイント

- ・ 調べる内容はグループ内で分担し、調べたことを黒板に掲示することで情報を共有させる。

## 2 調べて分かったことを基に話し合わせる。

**学習活動** 青森県は米づくりがさかんな地域と言えるかどうかについて話し合う。

収穫量が47都道府県の中で11位だから、さかんな地域だと思います。10aあたりの収穫量が1位ってすごい！

地形と気候の特色が庄内平野と似ていて、米づくりに適しています。だから、10aあたりの収穫量が多いと思います。

地形や気候と10aあたりの収穫量を関連付けたのは、よい考え方ですね。庄内平野との共通点を見つけたのも、素晴らしいです。

青天の霹靂は、庄内平野のつや姫と同じで、いろいろな品種のよいところを集めた品種改良によってつくられたことが分かりました。

地形や気候の条件だけでなく、人々の工夫や努力が重要なのは、米づくりがさかんな地域ではどこでも同じだと思います。

「品種改良」という言葉を使って話し合っているのが、素晴らしい！今日は、米づくりの学習について、さらに深めることができましたね。

### ポイント

- ・児童同士の発言をつながげながら、それらの考えを意味付けたり、価値付けたりすることによって、習得した知識や技能を活用することの大切さに気付かせる。

## キ まとめ

内容・領域についての学習状況は、「地域の様子・青森県の特徴」においては、等高線の意味、県全体の地形や主な産業の概要・分布などに見られる特色についての理解が十分とは言えない。また、「国土の環境」においては地域によって気候が異なる仕組みや、我が国を取り囲む海、経線、緯線等の用語の理解が十分とは言えない。

今後は、児童が意欲的に地図帳や地球儀を活用する場面や、白地図等の作業的な学習をする場面を取り入れた問題解決的な学習を意図的に設定することが大切である。

評価の観点からみた状況は、「知識・理解」においては概ね良好である。しかし、「観察・資料活用」及び「社会的な思考・判断・表現」は十分とは言えない。また、「活用」に関する問題についての状況も、十分とは言えない。

今後は、「子どもの疑問を引き出す資料や既習事項の提示の工夫から学習問題を児童に設定させる」ことや「学習問題に即して予想に基づいて調べる学習計画を児童に立てさせる」ことなど、問いや予想を重視して追究意欲を更に高め、児童が主体的に課題設定や探究活動に取り組むことができるような学習展開の工夫に努めたい。そして、課題意識を明確にしながら観察・調査活動をした後に、社会的事象の意味を「比較」「関連付け」「総合」しながら考え、用語や基礎的・基本的な知識を活用して話し合ったり、文章でまとめたりする活動を位置付けた授業を行うようにしたい。

社会科の授業では、子どもたちが自ら社会的事象の意味を調べ、考え、判断し、表現する活動を重視し、評価の4観点のバランスのよい育成を目指す必要がある。こうした社会科の授業を意図的に展開することを積み重ねていくことが、活用する力の向上につながる。